

政策名	4環境にやさしい港		責任者	港営部 海務課長	連携担当課
基本施策名	06秩序ある港湾環境づくり				
個別施策名	18港湾エリア(臨港地区、港湾区域)を適正に開発・利用する		連絡先	052-654-7880	(港営部)関連事業担当
事務事業名	06港湾区域内の大型漂流物除去				

1 PLAN(目的・概要)

目的	航行船舶の安全確保を図ります。	事業期間	昭和61年度～継続
概要	作業船による巡回及び通報により確認された港湾区域内の大型漂流物等を、迅速かつ確実に除去します。(除去作業は委託事業者が行います。)	根拠法令・要綱等	港湾法
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・土日休日夜間を除き、委託事業者の作業船による巡回を毎日実施します。また、漂流物情報があれば直ちに対応します。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
港内巡回日数	単位	目標	-	-	-	-	-	-	土日祝日及び荒天時以外は毎日巡回します。緊急時は土日祝日でも出動します。
	回	実績	218	206	205	211			
大型漂流物除去件数	単位	目標	-	-	-	-	-	-	
	個	実績	2,243	2,098	2,029	1,863			
事業費	千円	32,602	31,978	14,594	22,800	23,000			事業費は委託事業者決算額(22年度は予算額) 18~20年度は施設修繕のため委託費増額
人員	正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	1,737	1,754	1,716	1,696	1,753			
事業費・人件費の合計	千円	34,339	33,732	16,310	24,496	24,753			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
大型漂流物による海難件数	単位	目標	0	0	0	0	0	0	迅速かつ確実な対応により港内での海難発生を未然に防ぎます。	
	件	実績	0	0	0	0				
	達成度○/×		○	○	○	○				
	単位	目標								
		実績								
	達成率(%)									
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・港湾区域内の漂流物等船舶航行に支障を及ぼすおそれがある物の除去は、港湾法により港湾管理者の業務とされており、名古屋港では事業者委託により実施しています。							
	目的・水準の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・大型の漂流物は、特に小型船舶航行に危険を及ぼすものであり、発見されれば直ちに回収する必要があります。							
	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
有効性	成果の達成度	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・毎日の巡視時及び通報に迅速に対応しており、これまで漂流物に起因する海難は発生していません。							
	内容の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
効率性	実施主体の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
	受益者負担の適正性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・漂流物の回収はもとより、関係先との連携で適切な処理も行い、また、土日祝日も出動できる体制を整えています。							
	経済性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	水面においても良好な環境を維持することが必要なため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
引き続き事業の成果とコストの適正適切な維持に務めます。			